

ゆきちゃん通信

1999年4月15日

No.1

発行人 tomi

○上先生さようなら！

由紀子にとって保育園のお母さんだった○上先生が3月28日長崎へと転勤して行かれました。先生との出会いは由紀子が自閉症というハンディを背負う代わりに神様が与えてくださったような幸運な出会いでした。何もしつけられなかった私に代わって身の自立は全て先生のおかげです。由紀子の先生への信頼は絶対的なものでした。○上先生の添い寝でなければ昼寝もしなかった由紀子です。先生！本当にありがとうございました。でも、先生はずるい!!!

出発の朝、船の出航10分前まで波止場に現れないのですもの卒園式でも涙を見せなかった先生。泣かないための作戦だったのでしょうか？

でも、私知っています。お別れの前の日に由紀子がいいました。

「おのうえせんせい、なきむし」と……。

きっと先生は園児とのお別れでは……。

先生！お世話になりました。これからも由紀子とがんばっていきます。



ピカピカの1年生です。
四月七日(水) チョットおしゃれなお洋服を着て、新しいランドセルを背負って由紀子のこれからの自立を考えて一年五組、特殊学級への入級を決めました。担任はY田先生で、四年生の明日香さんというおねえさんといっしょです。当日は先生方の配慮でホームクラスの三組のお友達と一緒に入学式に参加する事ができました。入学式の入場の際にはいつものニコニコに戻って、みんなと一緒に最後まで参加してきました。いつもは泣き虫のお母さんも、この日は、あまりに心配で涙も出ませんでした。これからもニコニコの笑顔を大切に、がんばります。

○上先生とお別れしてから由紀子は先生の名前をぜったい口にしませんでした。

ところが、先日鏡の前で遊んでいた由紀子が「鏡よ鏡！この世で1番綺麗なのはだ〜れ？それは○上先生で〜す。」

つい言ってしまったいつものセリフ！その後、沈黙した由紀子の背中から「○上先生！いない!!!」の音が聞こえた気がしました。

編集後記

保育園を卒園して、小学生になる。普通ならばとてもうれしくて心待ちにするのですが、私にとってこの節目は不安が先に立ってとても楽しみとはほど遠いものでした。でも、春休みになって登校の練習を兼ねて小学校へ何度も由紀子と手をつないで歩くうちに「小学校、一年生！」と楽しそうに校庭を走る由紀子の姿に、この子の中にはもう次の世界が開けようとしているのを感じました。

最近、私の心を打った言葉に「障害児の知性と感性は別物」という物がありました。

由紀子の生活を見ているとまさにそのとおりだと思います。知性はなかなか育ててやる事はできませんが、この子の感性は私にも育ててやれるかもしれない。そんな思いで、由紀子と新しい生活のスタートを切りました。この通信の中で由紀子の感性をお伝えできれば……と思っています。

tomi

YUKIKOの心のつぶやき

だと思う！

4月7日(水)

今日は、お母さんと小学校へ行きました。何日も前からお母さんは私の顔を見るたびに「みさきちゃんと、手をつないで、あるこ〜あるこ〜のお歌で、みんなの【おめでとう】の中を歩くんだよ！」

って、うるさいほど言うの。もう覚えちゃったよ！他にもたくさん覚えさせられちゃって、小学生になるって本当に大変みたい。でもね、教室に行ったらみさきちゃんがないの。ずっと待っていても、他のお友達はたくさん来たのにみさきちゃんが来ないの……。お母さんに「みさきちゃんは何？」って何度も合図したけれど、「もうすぐ来るからね」と言いながら、お母さんのほうがドキドキしているみたい。なんだかたまらなくなちゃって……私とうとう泣いちゃった。だって、みさきちゃんと手をつながなくなちゃ……

♪あるこ〜あるこ〜って行けないでしょう。これからどうしたらいいの？エ〜ン!!!(>_<) 私が泣いていたら、Y田先生が来てくれて教室の外でみさきちゃんをいっしょに待ってようって！なんだかやさしそうな先生なの。頼りになりそう。いつも私の側にいてくれるみたい。

そして、みさきちゃんが来たよ！わたしうれしくて、ピョンピョン飛びたい気分だった。

お母さんがいった通り、みんなにおめでとうって言ってもらって、もののけ姫のお歌を聞かせてもらって、わたしとてもたのしかった。

おかあさん！わたし、いい子だった？